

あ  
わ  
た  
た  
ま  
し  
の  
た  
な  
ち  
か  
の



田名部 晃平

【工学分館にあるもの】

『意識はいつ生まれるのか  
: 脳の謎に挑む統合情報理論』  
(工学分館 491.37/331 [ほか])

『ハーバード 数学科のデータサイエンス  
が明かすビッグデータの残酷な現実』  
(工学分館 007.3/234 [ほか])

『データの見えざる手  
: ウエアラブルセンサーが明かす  
人間・組織・社会の法則』  
(工学分館 361.4/72)

『情報を生み出す触覚の知性』  
(工学分館 141.24/1 [ほか])

【ほかのキャンパスにあるもの】

『トラウマと記憶: 脳・身体に  
刻まれた過去からの回復』  
(本館 SC374/0143)

『新しい分かれ方』  
(本館 SB88/0179)

『「わかれ方」の探究  
思索と行動の原点』  
(本館 FA33/058 [ほか])

『どもる体  
(シリーズ「ケアをひらく」)』  
(本館 SC651/025)

スピリチュアルな話で恐縮ですが、  
感情と意識は別なんじゃないかと  
思います。【感情のコントロール】

とはよく言う話ですが、それを聞く度、

「いや、ちゃんやん。嫌なこと言われます、イラッ。  
しますね。ポメラニアン、死にました、悲しい。なりますね。ただ、  
嫌なこと言われて、殴りかかるか、『かわいそうなやつやな、人に文句  
ぼっかたれる、こんな性格で、さぞ現世、生きにくかるうな。代わりに  
拜んどいてやるからな、来世では幸せにおなり』思って、合掌するかは  
その人次第やん。感情コントロールやなくて行動のコントロールやん。  
それを人格と言うんやない、です、か。」

と心の中の小藪一豊が騒ぎます。(敬称略)

いつにも増して長くなりましたが、感情と行動、  
平たく言って【心】と【身体】についての特集です。